SBS 2003カップ 国際ユースサッカー

最終日

平山決めた U-18日本栄冠

2003SBSカップ国際ユースサッカー（日本サッカー協会、静岡新聞社・SBS静岡放送主催）最終は12日、袋井市のエコパスタジアムでU-18（18歳以下）日本代表－ベルギーユース代表、静岡ユース－ロシアユース代表の2試合を行った。優勝をかけた第1試合は、日本代表が平山のゴールでベルギーユースを下し、2勝1PK負けの勝ち点7でSBS杯を手にした。ベルギーは2勝1敗、勝ち点6で2位。第2試合は静岡ユースが、後半、退場者を出して10人となったロシアユースを攻め切れずに0－0で終了し、PK戦の末に敗れた。しかし、静岡ユースは勝ち点3となり勝ち点2のロシアを上回り、3位となった。

ベルギーユースに完勝

U-18日本代表 1（0－0、1－0）0 ベルギーユース

▽得点者【日】平山（渡辺）

【評】U-18日本代表がベルギーユースを1－0で破り、3年ぶりの優勝を決めた。

日本代表は立ち上がりこそ、攻めあぐねたが、中盤をきっちりつないで徐々にペースをつかんだ。前半33分、PKを得たが相手GKにセーブされて先制はならなかった。だが、この反則で相手が一発退場し、数的優位に立った。

後半は1人少ないベルギーを両サイドから攻め立てた。決勝点が生まれたのは後半20分。左サイドで兵藤がキープし、渡辺の左クロスを平山がダイレクトでゴールに突き刺して決着をつけた。

サイドから鮮烈得点

U-18日本3年ぶりV

○…サイド攻撃からの鮮やかなゴールで、U-18日本代表の優勝が決まった。3年ぶりの優勝だが、大熊監督は「育てることと結果を出すこと。これで良しという年代ではない」。さらにチームを仕上げていくことが目的だけに、表情は最後まで緩めなかった。

それでも、PKを失敗しながら、決勝点を挙げた平山を「自分で取り返そうと言う気持ちでやっていた。さすが」と評価し、途中出場で日本に流れを引き寄せ、さらに好アシストした渡辺も「いいクロスだった」と活躍をたたえた。

静岡ユース戦は、退場者を出し、1点を守れなかった。この日は10人の相手からいかに1点をもぎ取るか。立場は逆だが、「同じようなミスはしなかったことは今後に生かせる。いい経験をさせてもらった」と大熊監督。「静岡の選手が抜けて苦しかったが、新しい選手を見ることもできた」と収穫も強調した。

SBSカップを手にした増嶋主将が「うれしい。1人少なくても守り切れない、という課題も見えた。今日は確実に点も取れて自信になる」。沼津学園高出身の渡辺も「アシストは狙い通り。地元で結果を残そうと必死だった。自分に何が足りないかも分かり、次に進む一歩としたい」と力強く言い切り、Jリーグでの飛躍も誓った。

U-18日本代表－ベルギーユース代表　後半、渡辺（中央）は相手選手を振り切り攻め上がる＝エコパスタジアム

【ベルギーユース】4・3・3

GK ヴェルバウヘーデ
ヴァンデサンデ
ヴァンデルリンデン
ロンバーツ
メロッドテウース
プヴガルレンシアモア
テラクシスステル
7 SH8
9 GK7
2 CK2
25 FK20

【U-18日本代表】4・5・1

西川（大分U-18）
高萩（広島ユース）
吉弘（広島皆実高）
増嶋（市立船橋高）
柳高（広島ユース）
原（駒沢大）
梶山（FC東京U-18）
兵藤（国見高）
苔口（玉野光南高）
山城（C大阪U-18）
平山（国見高）

▽交代【日】渡辺・名古屋（山城）上田・鵬翔高（増嶋）三木・G大阪ユース（苔口）一柳・東京Vユース（高萩）【ベ】ハルーン（プレッサス）ヴァントルンハウト（ウアンヘステル）スピノーサ（メロッテ）

		勝ち点	得失点差	総得点
順位表	①U－18日本代表	7	4	5
	②ベルギーユース	6	2	4
	③静岡ユース	3	－1	2
	④ロシアユース	2	－5	0

（静岡新聞２００３年８月１３日朝刊）